

会 議 録

会議の名称	第 16 回米山地域開校準備委員会	
開催日時	令和 8 年 2 月 2 日 (月)	
	午後 7 時 00 分 開会	
	午後 8 時 30 分 閉会	
開催場所	中津山公民館 視聴堂室	
委員出席者	佐々木 俊 樹 委員	米岡小学校 P T A 会長
	斉 藤 善 寛 委員	中津山小学校 P T A 会長
	大 内 秀 人 委員	米山東小学校 P T A 会長
	中 村 直 人 委員長	米山中学校 P T A 会長
	島 本 和 男 副委員長	米岡小学校学校運営協議会会長
	菅 原 克 美 委員	中津山小学校学校運営協議会委員
	菅 原 直 行 委員	米山東小学校学校運営協議会会長
	久 保 泰 宏 委員	米山中学校学校運営協議会会長
	伊 藤 俊 一 委員	米山町行政区長会長
	佐 藤 美 紗 登 委員	米山幼稚園 P T A
	白 石 達 哉 委員	米岡小学校長
	渋 谷 雄 二 郎 委員	中津山小学校長
	佐 藤 友 昭 委員	米山東小学校長
	佐 藤 智 哉 委員	米山中学校長
事務局出席者	安 部 保 男	学校再編推進室長
	菊 地 泰 弘	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西 條 貴 伸	学校再編推進室主査
説明員	遠 藤 寛 之	総務部総務課公共施設利活用専門監
	及 川 誠 司	総務部総務課技術主査
欠席者	阿 部 真 吾 委員	よねやま保育園保護者会長
傍聴者	3 人	
議事	(1) 米山地区公共施設複合化整備事業の進捗状況報告及び開校時期の方向性について	
	事務局	開会 午後 7 時 0 0 分
	学校再編 推進室長	第 16 回米山地域開校準備委員会を開会する。 (挨拶) 要旨 ○本日は、(仮称)米山小学校が含まれる複合施設の新たな建設工期について、工事担当課の総務部総務課からお伝えし、併せて開校時期の考え方を教育委員会からお示しする。 ○本日お伝えする内容は、あらかじめ米山地域開校準備委員会の委員長及び副委員長、教育委員、市議会教育民生常任委員会にも同様の内容をお伝えしている。
	事務局	登米市開校準備委員会設置要綱において、委員長が議長となることが定められているため、以降の進行は中村委員長にお願いする。
	委員長	本日の議事に入る前に、会議録署名委員を指名する。

議事 1		<p>会議録署名委員は斉藤善寛委員と大内秀人委員とする。</p>
	委員長	<p>それでは、議事 1「米山地区公共施設複合化整備事業の進捗状況報告及び開校時期の方向性について」事務局に説明を求める。</p>
		<p>議事 1「米山地区公共施設複合化整備事業の進捗状況報告及び開校時期の方向性について」 【 説明員及び事務局説明 資料 1 】</p>
	委員長	<p>前回の会議において、事務局から工事遅延が生じている旨が説明され、詳細が判明次第、説明することとしていた。工事担当課からの説明のとおり、今回、完成時期が 1 年延長となる見込みが示された。これに合わせ、見直された工事工程表及び開校時期の案が提示された。全体を通して意見を求める。</p> <p>説明を聞いたばかりで難しいかもしれないが、開校準備委員会として説明内容を踏まえ、開校の時期を決めていかなければならないと考えている。</p>
	委員	<p>年度途中で新校舎が完成し引越すする場合でも、アリーナや外構は工事中ということになる。低学年の児童がいるなかで、重機がある工事現場の近くで授業をさせることには不安が大きい。また、教員の加配が可能なか、県の回答がないと分からないのだと思う。</p> <p>仮に既存の小学校を活用して児童を集約する場合であっても、開校時期を半年程度延長する選択肢があり得るのだろうか。</p>
	委員	<p>開校時期の案を 2 つ示されたが、これはいつまでに決めなければならないのか。</p>
	事務局	<p>教育委員会としては、教職員の人事や学校での教育課程のこともあるため、早期に決めていただきたいと考えている。仮に方針決定が次回の会議に持ち越しとなったとしても、10 日以内に次回の会議を開きたいと考えるが、あくまで開校準備委員会の意見に沿って決めていきたい。</p> <p>令和 9 年 4 月への開校延期をご説明した際には、グラウンドや体育館が完成しない見込みとなり、安全性を確保するために延期することとしていた。その前提に照らすと、今回ご提示する案は矛盾を生じ得るものであることは重々承知している。</p> <p>一方で、新しい校舎で卒業したいと願う児童も少なからずいると受け止めている。可能な限り新しい学校で授業を受けられる期間を確保できないか、教育委員会として検討したものだ。ただし、実現に向けては課題も多く想定されるため、皆さまと丁寧に協議してまいりたいと考えている。</p>
委員長	<p>開校時期の案として 2 案が示された。第 1 案は、中津山小学校を活用し、年度途中で新校舎へ移転する案であるが、移転後も敷地内で工事が継続することによる安全面を懸念する意見があった。第 2 案は、開校時期を 1 年延期する案である。</p>	
委員	<p>建たないものは仕方がないと思う反面、これまでの会議では予定どおり</p>	

		<p>建つと説明を受けてきた。前回の会議で突然、遅れるという話が出てきた。これまでの会議はなんだったんだ。事情があつて建設が遅れるのは分かるが、今の時期に出てくる話なのか。もう少し早い段階で分かっていたのではないか。分かっていたのであれば、工事に対する見通しが甘すぎたのではないか。</p> <p>当初、予定どおり開校すると教育委員会から言われていたから、それに向けて準備も始めてきたし、地域一丸となつてがんばってきた。それが、今日突然、建設が遅れる説明をされ、変更した開校時期の案を示され、今日決めてほしいと言われても、我々だけで決められる内容ではない。</p> <p>いまの説明を聞いただけでは、令和 10 年 4 月に開校できるかも疑問が残る。現役の子育て世代のだれもが、また遅れるのではないかと思うはずである。それだけ我々にとってこの問題は大きい。もう少ししっかりやっていただきたい。</p> <p>説明員 今回の工事遅延の件については、当方としても施工業者等と毎月のように工程管理会議を実施しており、先月の会議において、施工業者から正式に工期が遅れる旨の説明を受けたものである。以前から工期的に厳しい可能性があるとの話はあつたが、令和 9 年 4 月開校に向けて取り組んでいる旨の報告を受けていた。</p> <p>当方としても、どの程度の遅れが生じているのか確認するため、施工業者に工程の見直しを依頼し、12 月にその報告を受けたものである。一方、その報告を受ける前の段階では、明確な工程が把握できない状況であり、皆さまに報告することが難しい状況であつた。</p> <p>また、「これ以上の遅れはないのか」との点については、今回の工程見直しに当たり、施工業者及び設計業者において精査した上で示しているものであり、現時点では大きな自然災害等がなければ、当該工程どおりに進むものと捉えている。</p> <p>事務局 教育委員会としては、新たなスケジュールが示されたことを受け、開校時期の案を作成したが、あくまで教育委員会が作成した案であり、これが絶対のものではない。そこはご理解いただきたい。また、開校時期を本日決定するかどうかも含め、開校準備委員会として整理いただきたい。</p> <p>委員長 先ほどの意見は、遅れの理由の説明がもう少し早く示されていれば、ということだと捉えている。小学校の P T A は、何年も前から開校に向けて組織体制の見直し等に動いてきた経過がある。開校が遅れるとなれば、最後まで役員として残れなくなる者が生じることや、引継ぎが必要となることなど、影響がある。</p> <p>今日この場だけで方向性を決めることは難しいと考える。したがって本日は、各団体に持ち帰った際に説明や相談ができるよう、質問を出していただき、今後に備える形としたい。建物が完成していない中、新校舎に引っ越すこともできないため、その点も踏まえて意見をいただきたい。</p> <p>委員 一度延期した経緯がある中で、再延期の話が示され、驚いている。予定がずれていってどうなのかと思う。</p> <p>また、いったん中津山小学校で開校し、同じ年度内に新校舎へ移転するよりも、すべて完成してから新校舎に入る方がよいのではないかと考え</p>
--	--	---

	<p>る。子どもたちもグラウンドで遊びたいと思う。安全面に加え、子どもたちの思いも踏まえると、全体が完成して安心できる状況となってから開校した方がよいのではないか。</p> <p>併せて、中津山小学校を活用する場合、スクールバスの考え方は変わるのか質問したい。</p>
事務局	<p>前々回の会議において、スクールバスの考え方として、小学生は4 km以上、中学生は6 km以上を基準として設けたい旨を説明した。可能な限り当該基準に則って実施したい考えであるが、保護者の声を聞きながら、教育委員会として考えていきたい。ただし、今後も学校再編が続いていく中で、ご理解いただきたい部分もある。</p> <p>説明会を開催し、意見を聴取しながら進めていきたいと考えているが、基本方針としては、小学生は4 km以上を基準として説明していきたい。</p>
委員長	<p>最も心配しているのは、中津山小学校を活用した場合、年度途中で学校が変わることになり、子どもたちの精神的負担が大きくなることである。さらに、通学方法が変わることによって起床時間等にも影響が生じる可能性がある。親として不安があるということだろう。</p>
委員	<p>ヒ素が検出されたのは、5月の連休頃だったと聞いている。土壌を運搬する予算がなくて遅れたのか。進行計画が甘いのではないか。この工事がここまで、というスケジュールを組んで、それが後ろ倒しになっている。管理がなっていない。まずはそのことを考えてほしい。</p> <p>本当に令和10年4月に開校できるのか。令和10年4月の開校に間に合わせるぞという気持ちであれば、今の工期で間に合わないことはしょうがないと思うが、進行計画のやり方がまずいと思う。</p> <p>中津山小学校を活用する場合、改修に1,000万円かかると資料にあるが、これは補助金で賄われるのか。</p> <p>もう1点、開校を1年延期する場合の教員の加配について、教育長が県教育委員会と協議しているとの説明があった。それが難しい場合、この開校を1年延期する案自体もなくなるのか。個人としてはこの案に賛同したいが、教員配置ができるのか確約がない中で案として示すのはいかがなものか。この会議を侮辱しているのではないか。</p>
説明員	<p>ヒ素については、7月末に杭工事に伴い発生した残土の搬出時に実施した検査で判明し、その後の対応に時間を要したものである。</p> <p>また、工期については繰り返しとなるが、大きな自然災害がなければ、本日示した工程により進むものと捉えている。本日示した工程は、施工業者及び設計業者において、精査した上で示したものである。</p>
事務局	<p>事業費1,000万円の内訳については、補助対象とならないため、全額を一般財源（市費）で支出するものである。</p> <p>加配については、統合前の3年間及び統合後の1年間、教員1名を増員する取扱いである。令和10年4月開校となった場合、さらに1年分の加配を認めていただけないかという内容で、教育長が県教育委員会に要望している。</p> <p>当方としても明確な回答を得た上で会議に臨みたかったが、最終判断は</p>

	<p>県であるため、現時点ではこの形で示している。市教育委員会としては、県教育委員会に事情を理解いただき、令和 10 年 4 月開校となった場合であっても加配を認めていただけるよう、引き続き要望していく考えである。</p>
委員	<p>令和 10 年 4 月開校とする場合、校長等の管理職を含め、必要な教職員の配置は可能であるのか確認したい。</p>
事務局	<p>校長等の管理職や教員については通常の学校と同様に配置される。これに加え、教員 1 名を追加配置いただけるよう要望している。</p>
委員	<p>中津山小学校を活用する案の場合、引越しが 2 回生じることになる。引越しに伴い、教職員の負担が増えることや校舎清掃等を行う場面も生じると考える。引越しが 1 回で済む方が理想であるか、校長先生方に意見を伺いたい。</p>
委員(校長)	<p>職員や児童のことを考えると、引越しは 1 回で済ませ、精神的負担を軽減してあげたいと考える。</p> <p>現在、来年度の感謝の会の実施日や引越し実施日等について、何月何日に実施するか詰めている段階である。本来であれば、この時期に行事予定等の計画を立てておかなければならないが、現状ではなかなか進まない状況にある。</p> <p>私としては、方針を早期に決定し、来年度が円滑に進むようにしたいとの思いである。</p>
委員(校長)	<p>引越しは学校運営部会が担当である。引越しは大変な作業であり、引越しだけを見れば 1 回で済むに越したことはない。学校運営部会として、長い時間をかけて荷物をまとめる作業を行うためである。ただ、仮に令和 9 年度中に新校舎が完成したとしても、周囲で工事を行っている中で荷物を運ぶことができるのか不安である。</p> <p>また、中津山小学校が統合する 3 小学校の備品管理・消耗品管理を担っているため、新校舎には中津山小学校の備品等を中心に移動する予定であった。中津山小学校にいったん移転して完成を待つ場合であっても、足りない分を米岡小学校と米山東小学校から持ち寄ることで、引越しは実質 1 回で済むのではないかと考える。体育館備品をどうするのか、パイプ椅子が新しくなるのか等、分からない点もあるが、他の 2 校に比べれば手間は少ないと考える。</p> <p>私としても、令和 10 年 4 月に開校できるのか心配である。来年度の 6 年生は自分たちが最後の卒業生だという思いでいる。現 5 年生の担任も、最後の卒業生としてがんばるよう、これまで声をかけてきている。</p> <p>開校・閉校等のソフト面の区切りと、校舎やグラウンド等ハード面の完成や安全面を踏まえ、開校準備委員会としてどこで区切るべきと考えるのか。中津山小学校を活用するのであれば、最大限の準備をしたいと考えている。</p>
委員(校長)	<p>地域とともにある学校であるとこれまで述べてきたことから、保護者や地域の意見を聞きながら、どちらがよいのか判断したいが、職員の負担を</p>

	<p>考えると、2回の引越しは非常に厳しいと考える。</p> <p>また、環境面についても、2度場所を移動することで、その都度ルールや児童が落ち着いて学べる場が変わるようでは、落ち着きを保つことは難しいと考える。</p> <p>本校においても来年度が最後であるとかこれまで話してきたが、それは新しい学校に入るという希望があってこそ。児童もそうした思いを持っていた。統合後に中津山小学校に通わなければならないとなった場合、その思いがどうなるのか、想像がつかない。</p> <p>現段階で来年度の計画にストップがかかり、滞っている部分があるため、見通しについては早期に決定いただきたい。来年度以降の教職員及び保護者の思いを踏まえ、きちんと新校舎が完成した段階で、新しい気持ちで移行させたいと考える。</p>
委員(校長)	<p>児童の気持ち及び安全面を考えると、引越しは1回とし、4月から開校することが理想であると考え。理由の詳細は、先に発言した校長方の説明のとおりである。私は、1回での引越しに賛成である。</p>
委員長	<p>各校長から教育現場の視点による意見をいただいたところである。引き続き、委員からも意見をいただきたい。</p>
副委員長	<p>工期の関係で完成が遅れることは事実であると考え。開校準備委員会として、工程が示された以上、判断して決めなければならない。教育委員会に決めてほしいと言っても難しいと思う。</p> <p>学校現場では、児童に対し、もう少しすれば新しい学校に入れると説明してきたのだと思う。いずれにしても、本日示された工程では、令和9年4月に新校舎で開校することは困難な状況である。この状況を踏まえ、中津山小学校を活用して開校する案と、開校を1年延期する案が提示されたものと理解する。中津山小学校を活用する場合は、資料に記載のとおりデメリットもある。</p> <p>まずは総合的に勘案した場合、どちらが望ましいのか、開校準備委員会として方向性を出すべきである。その方向性に沿って、今後のソフト面も整理できると考える。</p> <p>私個人の考えとしては、1年延期した方が、来年度も準備に活用できてよいと考える。開校準備委員会としての考えを示すべきであると思うが、いかがであるか。</p>
委員長	<p>皆さんからの意見及び校長からの助言を踏まえ、方向性は決めていかなければならない。開校準備委員会として方向性を決定し、示していく必要がある。この点については、当初から皆さんと協議する中で共有してきた認識である。</p> <p>また、じっくり考え過ぎると、児童の教育計画に影響が出る旨の説明があったことから、その点も加味する必要がある。その上で、最も重視すべきは、保護者会等の意見であると考え。</p>
委員	<p>話を伺った中では、教職員の負担や、児童の心情が論点であると受け止めている。これまで現5年生は、自分たちが最後の卒業生になるという意気込みで学校生活を送ってきた経過があり、さらに1年延期となれば、精</p>

		<p>精神的なダメージが生じることも想定される。加えて、中津山小学校で開校した場合、他校の児童はどう受け止めるのかという点もある。</p> <p>様々な点を考慮すると、最後の卒業生と言われてきた児童に精神的負担が生じる可能性はあるものの、本日示された2案の中では、開校を1年延期する案の方がよいと考える。</p> <p>全体として負担が少ない案は、開校を1年延期する案であると考え。ただし、中津山小学校を活用する場合、米岡地域の大多数が学校まで4km以上となる。新校舎は総合支所跡地に建設されることから、当初はバス通学を想定していなかった。スクールバスの観点も踏まえると、1年延期した方がよいと考える。</p> <p>また、来年度のPTAの計画については、先月の会議を受けて既に決定していた。来週、執行部会があるため本日の会議内容に対する意見を聞こうと考えていたが、全体の意見としては大きく変わらないようにも感じており、どうしたものかと考えていた。</p> <p>本音としては、私が最後のPTA会長として締めたいと考えていたため、当初は中津山小学校を活用する案がよいと考えていたが、皆さんの話を聞くうちに、開校を延期した方がよいと感じるようになった。</p>
委員		<p>結局のところ県教育委員会の回答がなければ検討が進まないのではないかと。延期して加配が認められないのであれば、開校を延期する選択肢はなくなるという理解でよいのか。判断が難しいというのが率直なところである。</p> <p>個人的には、どちらの案もよいと感じている。他の委員の発言やスクールバスの観点を踏まえると、開校を延期し、新校舎が完成してから移転する案の方がよいと考えるが、加配の問題が気にかかる。</p> <p>加配教員なしで学校運営を行うことは、あり得ないことなのか確認したい。</p>
委員		<p>東和小学校の再編時には、本来は開校前から加配される教員が配置されない状況があった。旧小学校区に3校あったが、このうち加配が付いたのは1校のみであった。</p> <p>通常は開校前の3年間及び開校後の1年間について、通常の教員数に加えて1名増員される取扱いであるが、県の考えに左右されるため、必ず配置されるものではない。</p>
事務局		<p>仮にこのまま統合せずに令和9年4月を迎えた場合、教員数は現状維持となることは間違いないのか確認したい。加配とは、引越し対応や児童のケアのための職員が、通常の教員数に加えて増員されるという理解でよいのか確認したい。</p>
委員長		<p>再編に向けた準備が大変であることから、児童数に応じた通常の教員配置に加えて、追加で配置される考えである。</p>
事務局		<p>私も勘違いしていた点があるが、このまま3校として運営した場合でも、統合時に学校運営に必要な教員が不足するという事ではないのか確認したい。</p>
委員長		

	委員	事務局の説明では、加配が付かないからといって学校運営に必要な教員数が減るわけではなく、あくまでも再編に伴い追加で配置される教員がどうなるかというものであった。
	委員長	建物が完成しないという事実がある以上、今後の最終竣工に向けて責任を持って対応いただきたい。その上で、開校時期の方針については、来年度の学校運営に影響が出ないように、早急に選択しなければならない。 その判断の進め方として、本日の内容を各所属に持ち帰って他案を検討するのか、または本日この場で方針を決定するのか、どのようにすべきか確認したい。
	委員	持ち帰って検討しても、と思う。今後の学校運営を考えると、この場で決めてしまった方がよいと考える。
	委員長	児童の安全面及び精神面を踏まえると、開校を1年延期し、児童・保護者・教職員・地域と協力しながら、令和10年4月の開校に向けて進んでいくほかないと考える。判断は金銭面ではなく、安全面・精神面を重視するものである。 ただし、現4年生・5年生には精神的負担が生じると考えるため、個人的な考えにはなるが、新体育館でイベントを実施することや、卒業式は各校で実施した上で最後のイベントを新校舎で実施することなど、配慮の取組ができればよいと考える。 以上を踏まえ、開校準備委員会として、開校を1年延期する方向で進めることでよいか確認したい。
		(賛同の声)
	委員長	議事1については以上とする。進行を事務局に戻す。
	事務局	議事進行いただいた委員長に感謝する。また、急な判断をお願いすることとなり、本日参集の委員に対し、申し訳ない気持ちである。あらためて感謝申し上げる。 工事の工程管理については、これまで以上に対応していく。併せて、可能な限り遅滞なく適切な情報を伝えられるよう努めたい。引き続き新たな学校の開校に向けて協力をお願いしたい。開校は令和10年4月となるが、その間も開校準備委員会は定期的開催していく考えである。 また、委員長の意見にもあったとおり、児童が少しでも新しい学校を体験できる機会の在り方等についても、開校準備委員会の中で検討し、決定していきたい。今後とも引き続きよろしく願います。
その他	事務局	「その他」について、委員から何かあるか。
	委員	本日決定した内容について、どこまで共有してよいのか確認したい。学校としては、早ければ明日にでも教職員に共有し、各種計画を練り直す必要がある。

事務局	本日の会議は公開であるため、周知していただいて差し支えない。本日の決定は、学校運営を考慮した判断であるため、速やかに共有いただきたいと考える。
委員	現4年生は、本来であれば統合後最初の6年生として新校舎で学べる予定であり、楽しみにしていたはずである。仮に令和9年6月に校舎が完成するのであれば、開校までの間に複数回、新校舎に連れて行ってほしい。そうしたケアも必要であると考え、対応をお願いしたい。
事務局	そのように対応したい。そのためにも、開校準備委員会の中で協議させていただきたい。
事務局	他に何かあるか。なければ、事務局から何かあるか。
事務局	<p>前回会議で受けた歌詞に関する質問2件について、作詞者に確認したため報告する。</p> <p>1点目は、2番歌詞中の「未来（あした）」の読みについて、音源では「未来（みらい）」と歌唱していた件である。結論として、「未来（みらい）」と読むのが正しい。経緯としては、前回会議前に事務局が歌詞の最終確認を行った後、子どもにとって分かりやすく歌いやすいよう「未来（みらい）」と読む形に歌詞を改め、作曲者に修正を依頼していたが、その旨を事務局へ連絡することを失念していたとのことである。</p> <p>2点目は、1番・2番の末尾が「ゆく」であるのに対し、3番のみ「ほこる」となっている意図についてである。作詞者によれば、「ゆく」で統一すると字面は整い見た目はきれいにまとまる一方、歌詞としての重みが薄れること、字数の関係から適切ではないとのことである。また、末尾を「ほこる」とすることで、歌詞の締めとして広がりのあるイメージを持たせ、校歌を通して子どもたちに誇りを持ってほしいという意図を込めたとのことである。</p> <p>以上、報告とする。</p>
委員	本日の会議で決定した内容に関して、教育委員会から保護者へ通知する予定はあるか。
事務局	地域への周知は、学校再編だよりを通じて行いたいと考える。ただし、区長配布に合わせる形となるため、どうしても周知に時間差が生じる。南方町域でも依頼したが、委員にも周知への協力をお願いしたい。詳細は、後日、学校再編だよりで周知するとお伝えいただきたい。
委員	南方の開校も1年延びるのであれば、米山と同時に開校することになるのか。
事務局	南方は令和11年4月、米山は令和10年4月開校となるため、同時ではない。
委員	開校が1年延びることを子どもたちにどのように伝えるべきか。

委員	<p>隠していても仕方がない。子どもたちには明日にでも伝えるべきと考える。PTAの執行部等にも経緯を説明したい。</p>
委員	<p>子どもたちだけが知っていて保護者が分からないのは問題になる。流れとしては先に保護者にお知らせする必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>南方の例で恐縮であるが、南方では学校から要点を先に周知し、詳細は学校再編だよりで周知する旨を併せてお伝えいただいた。正確な情報を伝えるため、このような形とした。</p>
委員	<p>次回の会議はいつ頃の開催となるのか確認したい。</p>
事務局	<p>次回会議は2月下旬の開催を予定している。本日、開校を1年延期する方向について内諾を得たが、正式には、開校準備委員会の前身である再編準備委員会が作成した「米山地域学校再編実施計画」を変更する必要がある。次回会議では、その変更について承認を得る形とする。その後、教育委員会会議に諮り、正式に変更となる。</p> <p>また、校長先生方においては、開校時期の延期に関する周知方法について、ご相談いただきたいと考えている。</p>
事務局	<p>次回の会議は2月下旬とし、日程の詳細は、委員長と調整のうえ、改めてご案内申し上げる予定とする。</p> <p>以上で、第16回米山地域開校準備委員会を閉会する。</p> <p>閉会 午後8時30分</p>